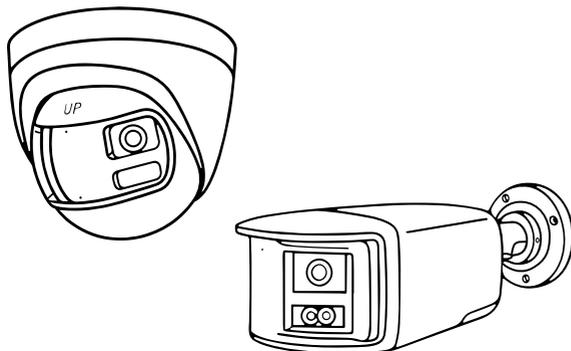


## 3K ハイブリッドライトFCView パノラマカメラ



### 付属品

取付ネジ	3本
コンクリート用アンカー	3本
穴あけテンプレート紙	1枚
取扱説明書	1部

### コンクリート面に取り付ける場合

コンクリート用アンカーボルトはあらかじめ設置 場所にφ5.5mm程度の穴を開け、付属のアンカーを打ち込んでから取付ネジで取り付けてください。

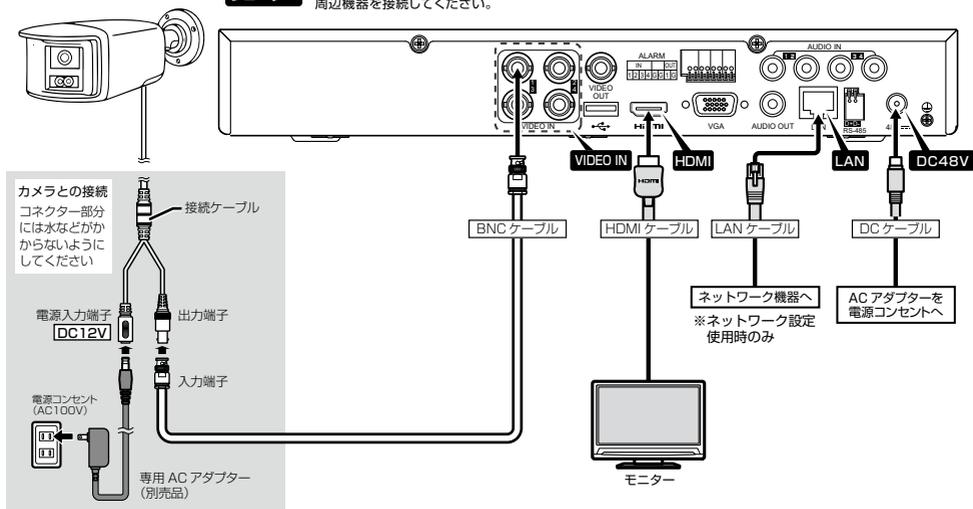
### △注意

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空襲、強盗、変質者の侵入等の犯罪による損失、損傷等が発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

## 接続の方法

**レコーダー** 入出力信号に適した端子にHD-TVIカメラやモニターなどの周辺機器を接続してください。



最大伝送可能距離 (使用するケーブルによって変動します)

ケーブル種類	S-5C-FB 5C-FB	5C-2V	3C-2V
伝送可能距離 (HD-TVI カメラの場合)	600m	500m	300m

## 安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



### 警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

#### 異常があるときは、すぐに使用をやめる

- 次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事に連絡してください。
- 煙がでる、においがする
- 内部に水や物が入った
- 画面が映らない
- 接続ケーブルや外部が劣化
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。

#### 指定の電源電圧で使用する

- 必ずDC12Vで使用してください。
- 火災や感電の原因となります。

#### 水でぬらさない (ドーム型カメラの場合)

- 水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。
- 火災、感電、故障の原因となります。

#### 次の場所に設置しない

- 雨水などがかかる場所（ドーム型カメラの場合）  
故障の原因となります。
- 強度の不足する場所、不安定な場所  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所  
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所  
火災や感電、故障の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所  
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスの雰囲気中  
爆発によるけがの原因となります。

#### 指定以外の機器・アクセサリは使用しない

- 指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。

#### 結露した状態で使用しない

- 故障の原因となります。
- 電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

#### 設置、点検時は次のことに注意する

- 設置・配線・点検時は電源を切ってから行ってください。感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- 足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険です。設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。ケーブル類は正しく配置してください。引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。落ちたりして、破損、けがの原因となります。

#### 無理な力を加えたり傷つけない

- 接続ケーブルなどを傷つけない、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っばったりしないでください。電源ケーブル、同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

#### ぬれた手でさわらない

- 感電の原因となります。

#### 分解や改造はしない

- 内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

#### 雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない

- 感電の原因となります。

### 注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

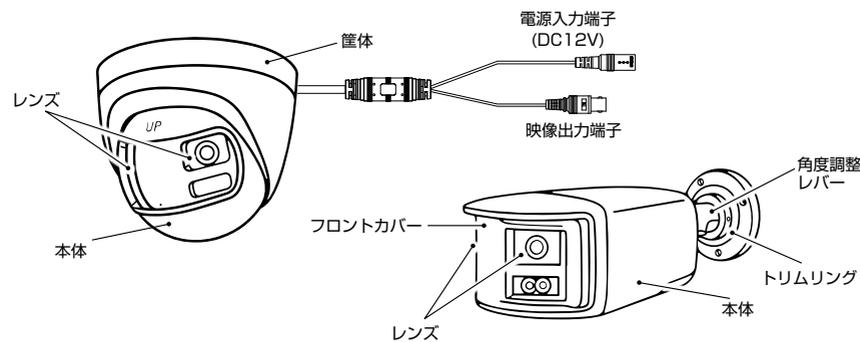
#### 工事に関しては工事店などに依頼する

- 工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店や工事店にご依頼ください。
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。

#### 定期的に点検する

- 取り付けかゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。

## 各部の名称とはたらき

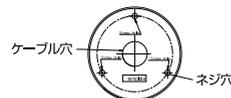


## 設置の方法

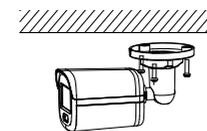
壁面と天井のどちらでも取り付けできます。ここでは天井に取り付ける例を示しています。壁面に取り付ける場合でも、以下の手順を参考にして取り付けることができます。

### バレット型カメラ

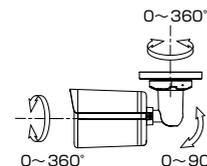
- カメラを設置する場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付けます。
- セメント天井の場合、5.5mmのドリルでネジ穴を開け、付属のアンカーボルトを挿入します。
- ケーブルを天井から通す場合はケーブル穴を開けてください。



- ブラケットのネジ穴を天井に合わせ、付属のネジ3本でカメラを固定します



- 電源コードとビデオケーブルを接続します。
- カメラの電源を入れ、モニターに最適な角度で映っているかどうかを確認します。
- うまくいかない場合は、トリムリング及び角度固定レバーを反時計方向に回して緩め位置を調整します。

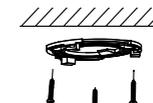


### タレット型カメラ

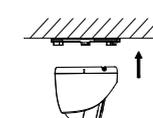
- カメラを設置する場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付け、ネジ穴とケーブル穴(オプション)を開けます。  
注：ケーブル穴は天井内へ配線する場合に必要です



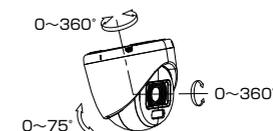
- 取付ベースを天井に取り付け、付属のネジで固定します。



- 取付ベースにカメラをはめ、時計方向に回してロックします。



- カメラの電源を入れ、モニターに表示される画像が最適な角度から得られるかどうかを確認します。最適でない場合は下図に従ってカメラを調整してください。



## PTZ 制御パネルでの操作

本製品は UTC (Up The Coax)機能を搭載し、UTC機能対応の録画装置から遠隔接続によるOSDおよびレンズ操作を行います。下記手順は弊社レコーダーでの調整方法となります。また、操作に対応している映像信号は、HD-TVIとなります。

◀接続の方法は1ページをご覧ください

1.

設定を行うカメラのライブビューから「PTZコントロール」アイコンを選択するとPTZ画面が開きます。



2.

## コントローラーの操作方法



1		OSD メニューの表示
2		確定、Enter (メニュー時)
3		上下選択 (メニュー時)
4		左右選択 (メニュー時) ▶…数値を上げる ◀…数値を下げる

## OSD メニュー

### ■ メインメニュー

カメラを設置するにあたってUTC機能を利用し、カメラに接続したモニター上から、設定環境に応じて適切な設定を行う事が出来ます。

- OSDメニューを表示するために (メニュー) を押します。
- 上下選択ボタンで設定したい項目を選びます。  
※ ◀ ▶ が表記されている場合は左右ボタンで選択できます。  
※ ◀ 上 ▶ サブメニューがある場合は、決定ボタン (アイリス+) を押すとサブメニューを表示します。
- 設定を終了したいときはSAVE&EXITを選択し、決定ボタン (アイリス+) を押してください。

MAIN MENU	
◆EXPOSURE	↓
LIGHTING SETTINGS	↓
VIDEO SETTINGS	↓
AUDIO SETTINGS	↓
FUNCTIONS	↓
FACTORY DEFALT	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

<b>EXPOSURE :</b>	周囲の明るさに応じて映像を一定の明るさに保つための露出設定を行います。
<b>LIGHTING SETTING :</b>	白色ライト、IRライト、スマート設定などライティングの設定を行います。
<b>VIDEO SETTINGS :</b>	各種映像調整を行います。
<b>AUDIO SETTINGS :</b>	マイクのオンオフおよび音量の調整を行います。
<b>FUNCTIONS :</b>	動体検知のオンオフ及びエリアの設定とプライバシーマスクのオンオフとエリアの設定を行います。
<b>FACTORY DEFALT :</b>	OSDメニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。 → <b>CANCEL :</b> メインメニューに戻ります。 <b>CONFIRM :</b> 工場出荷時の状態に戻します。
<b>EXIT :</b>	設定を終了します。
<b>SAVE &amp; EXIT :</b>	設定を保存してメニューを終了します。

### ■ EXPOSURE

MAIN MENU	
◆EXPOSURE	↓
LIGHTING SETTINGS	↓
VIDEO SETTINGS	↓
AUDIO SETTINGS	↓
FUNCTIONS	↓
FACTORY DEFALT	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

EXPOSURE	
EXPOSURE MODE	◀GLOBAL▶
AGC	◀MEDIUM▶
ANTI - BANDING	◀OFF▶
BACK	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

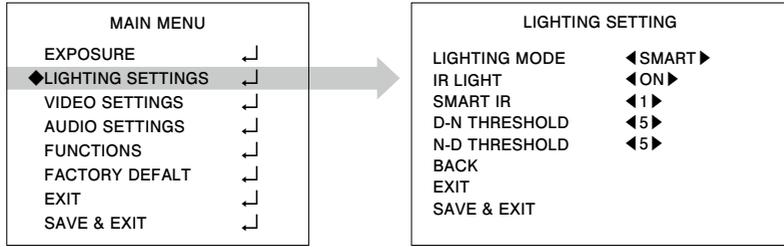
**EXPOSURE MODE :** 露出モードは、「GLOBAL」「BLC」「HLC」「WDR」のいずれかに設定できます。

◀GLOBAL▶ : 通常モード    ◀BLC▶ : 逆光補正機能    ◀HLC▶ : ハイライト補正機能  
◀WDR▶ : 白とび、黒つぶれを補正し、明るい場所と暗い場所が混在する映像を鮮明に映します。

<b>AGC :</b>	オートゲインコントロールのレベルを設定します。夜間など低照度環境下での撮影時に効果があり設定を高くすれば映像は明るくなりますが、その分ノイズも増加するので必要に応じて調整してください。
<b>ANTI-BANDING :</b>	低周波光や高輝度の環境で画像を撮影するときに水平線(バンディング)が発生しないようにする設定です。
<b>BACK :</b>	メインメニューに戻ります。
<b>EXIT :</b>	OSDメニューを閉じます。
<b>SAVE&amp;EXIT :</b>	設定を保存してメニューを終了します

各メニューページで共通です

## ■ LIGHTING SETTING



**LIGHTING MODE** : 照明のモードの設定を行います。◀SMART▶ : スマートモード ◀IR▶ : 赤外線ライトモード ◀WHITE LIGHT▶ : 白色ライトモード  
**IR LIGHT** : 赤外線ライトを使用するか設定します。◀ON▶ : 赤外線ライトを使用します。◀OFF▶ : 赤外線ライトを使用しません。  
**SMART IR** : スマートライト(暗くなると自動点灯)のレベルを設定します。(0~3)  
**D-N THRESHOLD** : 暗くなる時に動作する感度を設定します。(1~9)  
**N-D THRESHOLD** : 明るくなる時に動作する感度を設定します。(1~9)

→ LIGHTING MODEが、「WHITE LIGHT」の場合、次の項目が設定できます。

**WHITE LIGHT** : 白色ライトを使用するか設定します。

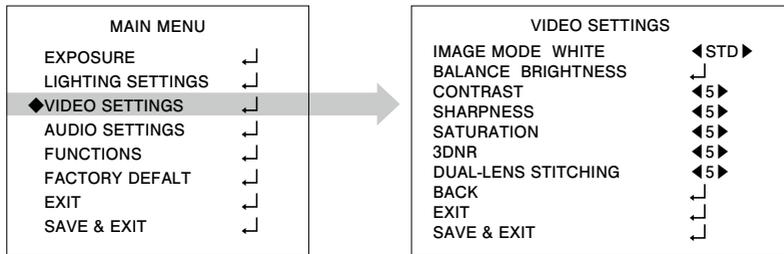
◀AUTO▶ : 白色ライトを使用します。 ◀OFF▶ : 白色ライトを使用しません。

→ [AUTO]設定時、次の項目が設定できます。

**THRESHOLD** : しきい値。高く設定するほど、暗い環境に対するデバイスの感度が高くなります。(1~3)

**LEVEL** : 補助光の最大輝度を調整できます。(1~5)

## ■ VIDEO SETTING



**IMAGE MODE** : 画像の彩度を調整するための設定です。

◀STD▶ : 通常モード ◀HIGH-SAT▶ : 高彩度モード ◀HIGHLIGHT▶ : 室内で顔のディテールを鮮明にするモード

**WHITE BALANCE** : 映像のホワイトバランスを設定します。(サブメニューに入ります。)

**BRIGHTNESS** : 映像の明るさレベルを設定します。(1~9)

**CONTRAST** : 明度の差を調節します。(1~9)

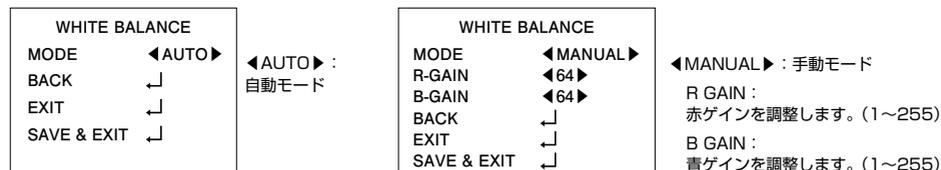
**SHARPNESS** : モニタ画面の輪郭を強調しシャープに見える補正を行います。(1~9)

**SATURATION** : 彩度を調整します。(1~9)

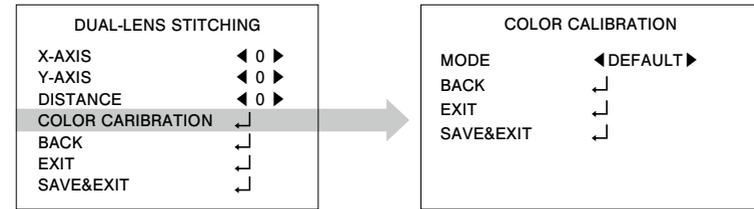
**3DNR** : デジタルノイズリダクションの設定を行います。(1~9)

**DUAL-LENS STITCHING** : X軸、Y軸、距離、色補正を調整することで、合成画像の画質を設定します。↵

## —WHITE BALANCE



## —DUAL-LENS STITCHING



**DUAL-LENS STITCHING** : DISTANCE項目で補正できない場合に、X,Y-AXIS項目を調整します。

X-AXIS : 水平方向の合成画像を微調整します。右側のレンズのみ影響します。(-10~0~10)

Y-AXIS : 垂直方向の合成画像を微調整します。右側のレンズのみ影響します。(-10~0~10)

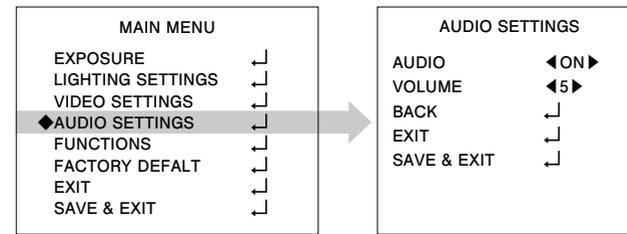
DISTANCE : レンズと被写体の物理的な距離感を補正します。(0~5~10)

**COLOR CALIBRATION** : 合成画像の色を調整し、2つのレンズの色の不一致を解消します。

◀DEFAULT▶ : 色の調整は出来ません ◀AUTO▶ : 合成画像の色を自動的に調整します。

◀MANUAL▶ : 左右レンズそれぞれのR、Bゲインを手動で設定します。

## ■ AUDIO SETTINGS



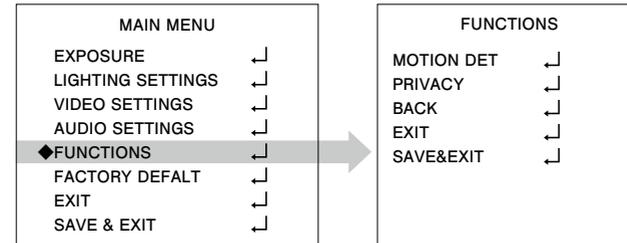
**AUDIO** : マイク音声を有効にするか設定します。

◀ON▶ : マイク音声を使用します。

◀OFF▶ : マイク音声を使用しません。

**VOLUME** : マイクの音量レベルを調整します(1~9)

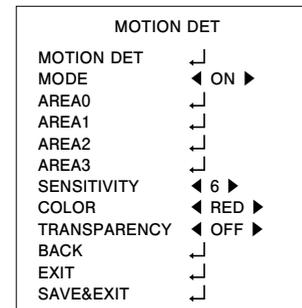
## ■ FUNCTIONS



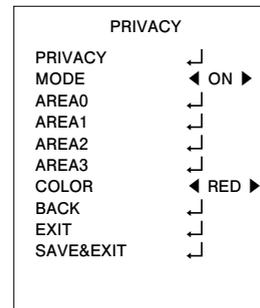
**MOTION DET** : 動体検知機能のオンオフと検知エリアを設定します。最大4エリアの設定が可能です。↓

**PRIVACY** : プライバシーマスク機能のオンオフとマスキングするエリアを設定します。最大4エリアの設定が可能です。↓

## —MOTION DET



## —PRIVACY



**MODE** : 各機能のオンオフを設定します。

◀ON▶ 機能を使用します。

◀OFF▶ 機能を使用しません。

**AREA0~3** : サブメニューに入り、表示設定のオンオフ及びX,Y-POSITION、WIDH、HEIGHTで、エリアの設定をします。

**SENSITIVITY** : (MOTION DETのみ)動体検知の感度を設定しま、す。(0~9)

**TRANSPARENCY** : (MOTION DETのみ)表示エリアの透過設定をします。(ON、OFF)

**COLOR** : 表示エリアの色をします。(RED、GREEN、BLUE)

